

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法定基準を満たしている。別室の和室も利用し、個別や小集団でも過ごせるよう配慮している。必要に応じて事務所も活用することがある。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			週平均6名配置。児童指導員、教師、保育士等、有資格者も配置し、質の高い支援を目指している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			利用者が安心してすごせるように構造化に努めていく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			お昼と夕方の2回、打ち合わせを実施。意見を出し合うだけでなく、しっかりと共有していき、職員で対応の差異がでないよう心がけている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートは集計し一覧化する。ニーズを把握し優先順位をつけ、改善に向け検討を重ねている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			年度初めにHPで公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			毎年実地指導を受けており、業務改善や工夫につなげている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			義務研修はすべて受講。他受講例「CAP大人ワークショップ」「障害に関することは身近にある!」「児童虐待の予防と対策について」「障害者虐待防止・権利擁護研修 演習編及び実践編」。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者以外にも、学校の先生、相談支援事業所、子ども相談センター、他放デイ等、各支援機関からも広く情報収集している。客観的なアセスメントを行うよう心がけている。施設職員への聞き取りも行っている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			木子里G独自のアセスメントシート(領域別)を使用。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			関係者の意見も幅広く取り入れている。新聞紙に包んだ筒1本を触感と臭いで当てる「野菜当てクイズ」や地域を知ってもらう意味で「所沢銘菓を買いに行こう」を実施。何れも職員の発案をチームでプログラム化した。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者が積極的に活動提案をしてくれる環境がある。常勤精査の上プログラムに取り入れている。今年度は「子どもリクエストおやつ」が職員で話し合ったうえで導入になった。立案は必ずチームで行っている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇時は、お出かけ、買い物活動、レク、木子里まつりなど、普段できない活動を積極的に取り入れている。利用者体調管理のため今年度「お昼寝タイム」を導入。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			適時組み合わせで作成している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			打合せは必ず実施。役割分担、加配担当、個別の課題等を共有。利用者も職員も安心して過ごせる施設を目指している。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎終了後振り返りを実施。意見を言いやすい環境づくりを心がけている。共有については常勤が意見をまとめている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			客観的な事実を記載するよう職員へ指導している。支援の検証や改善に主観的要素が入らないよう心がけている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1度必ずモニタリングを行い、計画も更新している。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインの基本活動をベースに、木子里らしさを生かした活動や支援を行っている。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者か児発管が参画。資料を事前に共有し、どちらでも出られるようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			情報共有、連絡調整共に適切に行っている。今年度はある学校で、送迎時の引き渡しについて連携している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			受け入れ予定なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			ケースに応じて訪問し、情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			設問記載のケースは現在無い。対応できる準備は整えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			ご家庭支援や不登校のケースで意見交換をしたり、助言を受けたりしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			「バルーンアートショー」を開催し、近隣学童の子も招待して、ともに楽しむ機会を作った。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			参加は出来ていないが、資料には目を通し内容や取り組みの把握に努めている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や利用者の引き渡しの際の申し送りを利用して、課題等伝え合っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者への支援や励まし、助言を積極的に行っている。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			見学時または契約時に丁寧に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			悩みがすぐに解消されるケースはまれであることから、寄り添って一緒に考えていく支援を大事にしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者参加型イベントを実施した。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			常勤が責任を持って対応。迅速な行動を心がけている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月「kikkori通信」を発行している。「号外」も4回発行した。通信は施設内にも掲示し、周知に努めている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			資料や記録一式は鍵付きデスクやキャビネットで保管。施設外やSNS等での安易な発言は慎むように、職員全員に周知している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			短いフレーズで伝える、視覚ツールの使用、選択肢を示す等、個々に合った配慮を工夫している。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	できておらず、施設の検討課題である。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			保護者の認知度が低いと感じている。周知の回収を増やすなどの工夫をしていく。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練は毎月実施。消火訓練、通報訓練も年2回以上実施している。災害時に必要な物は備蓄している。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年2回の研修を受講した。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			計画に記載。契約時、更新時に丁寧に説明している。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書を預かり、対応できるようにしている。エピペン練習キットで、半年に1度全員で使用確認をしている。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			記録表作成済。全職員で共有している。